



SISTER CITIES NEWS

姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki

Vol.58 2012.5.12

茨木市国際親善城市協会



2012年国際交流の集い

CONTENTS — 目 次 —

● 2012年国際交流の集い	2
● JICA研修員とのふれあい交流	3
● 活動団体紹介、IIN30周年記念寄稿	4
● 市からのお知らせ、通訳ボランティア募集	5
● 茨木カントリー倶楽部青少年国際交流助成事業	6
● 英語ハイクコンテスト、ホームステイ・ホームビジット登録家庭募集	7
● 英語学習ツアー募集、小豆島町宿泊補助制度、中国語教室	8

2012年国際交流の集い

— International Gathering 2012 —

1月21日(土)、茨木市市民会館ドリームホールで「2012年国際交流の集い」が開催され、市民と外国人約240人が交流を図りました。今年も外国人による日本語スピーチ発表会を始め、JICA 和太鼓クラブ with IRIS による和太鼓演奏、韓国国際学園の生徒による扇の舞・テコンドー演武、餅つき大会、民謡民舞、市内の高校生たちによる趣向を凝らしたブースなど、会場は活気に溢れていました。また受付では、東日本大震災復興支援の一環として、東北の物産販売も行いました。

今回日本語スピーチ発表会で素晴らしいスピーチを披露して下さった、サビーノ・アナ・マリアさんの声をお届けします!



▲JICA和太鼓クラブ with IRIS



▲テコンドー演武(韓国国際学園のみなさん)



▲プチュチュム(韓国国際学園のみなさん)



▲茨木市民謡民舞同好連盟のみなさん



▲高校生によるブース



▲日本語スピーチ発表会



▲盆踊りでフィナーレ



▲餅つきのようす



日本語スピーチ大会で発表されたスピーチをご紹介します

「日本語スピーチ大会に出場して」
サビーノ・アナ・マリア
(ポルトガル)

1月21日の「国際交流の集い」で、日本語のスピーチを頼まれたのは2週間前でした。何を話そうかと、とても悩みました。日本に来てから20年以上になりますが、あまりにも話したいことがありすぎて困りました。結局、日本語が上手になるほど、人間関係が複雑になるというタイトルで話しました。

日本という社会は、ポルトガル人の私からすると、日本

人とのコミュニケーションの取り方に悩んでいました。「みんなと同じ」をいつも要求されるからです。思っていることを言うてはいけない社会。私が私らしく生きていけない。いつも、自分より相手に合わせていかないと仲間に入れてはもらえないのです。

私の順番が来て、皆の前に立った時、あふれる気持ちでいっぱいになり、うまく伝えられませんでした。でも、終わったあとでたくさんの人から、「あなたの気持ちがよくわかりますよ」と言われました。一度でいいから、私の思いを話してみたかったです。たくさんの人に共感される機会をもてうれしかったです。

市民とJICA研修員との ふれあい交流

2月11日(祝)、JICA 大阪研修員11人が茨木市民16人と交流しました。午前中は南市民体育館で大極柔力球・空手・卓球を楽しみ、午後は豊川コミュニティセンターで昼食の巻き寿司とみそ汁を作りました。大極柔力球は外国人も日本人も初めて体験する人が多く、皆さん興味津々で取り組んでいました。また昼食作りでは、野菜を切る係や寿司飯を作る係など、それぞれの役割を決め、言葉の垣根を越えて協力していました。今回参加された方の感想を、お二人分紹介します!

JICAふれあい交流に参加して

Y.N

私は今回のふれあい交流をとおして人とのつながりや、世界に対する自分の視野を広げることができました。最初は上手く英語を使うことができるか不安でしたが、通訳の方がいらしゃったので、安心して自分から会話をすることができました。この交流の魅力は、外国の人と交流できるだけでなく、参加した市民の方々と仲良くなれることだと思います。私は今回交流した外国人の方々や日本人の方々ともメールやインターネットを通して交流を続けています。この交流に参加して本当に良かったと思っていますし、またこのような機会があれば、積極的に参加したいです。



ふれあい交流に参加して

H.Y

私は、今回 JICA の企画に初めて参加させていただきました。JICA の研修員の方々は優しい人ばかりで、バスで話していると日本の意外なことについて結構知っていたのでおもしろかったです。最初はみんなで体育館に行って、卓球やいろいろなアクティビティをしました。ガーナの人やエチオピアの人が「うさぎとかめ」を歌っていた姿は少しかわいかったです。(笑) その後は移動してみんなでお昼ごはんにおすしと味噌汁を作りました。外人の人たちは生の魚をあまり好まないのを聞いたことがありましたが、JICA の研修員の人たちは生のいかやサーモンを上手に切れていて、とてもびっくりしました。そしてみんなでおいしく食べて、最後は記念撮影して終わりました。今回のこの企画で(外人ってこんなことするんや。)とかいろいろびっくりしたことがあったけど、楽しかったです。ガーナやエチオピアの人たちとの交流は初めてで少し緊張したけど、いい経験になりました。ありがとうございました。



▲卓球のようす



▲ヤア!



▲大極柔力球挑戦中



▲みんなで手巻き寿司作り



▲納豆に興味津々



▲大極柔力球挑戦中



▲参加者のみなさん

実用日本語学習会

Let's learn
Japanese
together!

「実用日本語学習会」では、日本語を母語としない方を対象に、マンツーマンで日本語学習の支援を行っております。

また、学習支援者も同時に募集していますので、興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください!

と き ▶ 《Thursday Class》 1:30~3:00 p.m.
《Friday Class》 10:00~11:30 a.m.

と ころ ▶ 8th Floor at City Hall Annex

ひ ょ う ▶ 1,500円(テキスト代は実費)

※木・金曜の両方に参加の場合は、3,000円

れん ば ん ▶ TEL 080-6178-6312

(代表携帯)

[ホームページ]
<http://nihongo.o.oo7.jp/>



We Are Friends!

青少年活動室では、英語でクッキング、ショッピング、ハロウィン、クリスマスなど、毎回テーマに沿って講師の久徳ウェンディー先生と一緒に英語に親しむ「We Are Friends!」を、原則4・5・7・9・10・12・2月の第3日曜日(10月は最終日曜日)にクリエイティブセンターで行なっています。詳細は、開催月の広報いばらき及び協会ホームページでお知らせしています。

対 象 ▶

小学4年生~中学3年生

連 絡 ▶

協会事務局
TEL.072-620-1604

ボードゲームのようす▶



茨木-ミネアポリスの絆 ~IIN設立30年によせて

姉妹都市活動室委員長 中村 通子

茨木市とミネアポリス市が姉妹都市の盟約を交わした2年後、1982年(昭和57年)に姉妹都市活動室(IIN)は発足しました。その名前のお通り、姉妹都市であるミネアポリス市との、一人一人のつながりを大切に交流を軸にしなが、JICA研修員、大阪大学の留学生あるいは在住外国人の方々とも友情を育み、今年で設立以来30年を迎えます。

今秋、その長い交流の一環として、ミネアポリス市から訪問団が来られる予定です。概要を、以下にお示します。

日 程 ▶ 平成24年11月8日~15日

内 容 ▶ 滞在中は原則ホームステイ
京都、広島等へのアウトティング
書道、茶道、華道等日本文化体験等

<お問い合わせ先>

IIN直通 ▶ 080-5717-7487(代表携帯)
ホームページ ▶ <http://www.zd.em-net.ne.jp/~iin/>
市国際親善都市協会事務局 ▶ 072-620-1604

Ibaraki Intercultural Network (IIN) 姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、ミネアポリス市との交流を支えるための英語力や国際感覚の向上、異文化理解のため、ゲストスピーカーの英語によるスピーチを聞いたり、ディスカッション等を行ったりしています。また、JICA研修員、阪大留学生や茨木市近隣に在住の外国人との交流を楽しんでいます。

興味のある方は、気軽に見学に来てください。

例 会 ▶ 第1木曜日 午前9時30分~11時30分
第3土曜日 午後2時~4時

場 所 ▶ クリエイトセンター
※協会事務局へお問合せください。

資 格 ▶ 茨木市国際親善都市協会会員

年会費 ▶ 正会員:2,000円(18歳以上)
準会員:1,000円(中・高校生)



国際親善都市協会 会員募集!!

本協会では、姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、年2回発行する協会報の送付や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

[主な活動内容]

- 国際交流の集い ●市民と市内在住外国人等との「ふれあい交流」
- 姉妹・友好都市への市民親善訪問団 ●中・高校生の「英語スピーチ大会」など

協会ホームページ ▶ <http://www.ifai.jp/>

<年会費>個人会員(一般) 2,000円 (学生) 1,000円 / 法人会員 一口 5,000円

<申込先>協会事務局(市役所南館8階 市民活動推進課内)





市からのお知らせ information

安慶市友好訪問団5名が来茨

平成23年12月20日(火)から22日(木)にかけて、安慶市友好訪問団5名が来茨され、市長・議長等への表敬訪問と議定書の締結を行いました。滞在中はパナソニックショールームや彩都西中学校、中央図書館を視察され、中国と日本の学校制度の違いや、図書館に置かれた中国文学の本に興味を示されていました。



▲安慶市友好訪問団



▲彩都西中学校を視察



▲中央図書館を視察



▲左:査団長 右:野村市長



▲市長・議長を表敬訪問

ミネアポリス市バイオビジネス訪問団来茨!

平成24年2月20日(月)から2月22日(水)にかけて、ミネアポリス市バイオビジネス訪問団10名が来茨されました。21日と22日の二日間で、市内の企業との懇談や視察を意欲的にこなされたのち、大阪市内で開催された「World Forum for Medical Device in KANSAI 2012」に出席をされ、帰国の途につかれました。



▲エスケー化研にて



▲東芝茨木スマートコミュニティプロジェクトチームのみなさんと



▲市長・議長を表敬訪問



▲彩都視察のようす

安慶市海外研修生の3名が表敬訪問されました

平成24年2月29日(水)、安慶市の海外研修生、江勇(こうゆう)さん、徐文(じょぶん)さん、方海強(ほうかいきょう)さんが市長を表敬訪問されました。3月7日(木)まで市役所内で研修をされ、日本語の習得はもちろん、日本の文化や歴史、生活習慣についても熱心に学ばれました。



▲安慶市研修生と市長

茨木市国際親善都市協会通訳ボランティア募集!

協会では、日本語が不自由な外国人市民の生活支援を目的に、主に市役所などの行政窓口へ、通訳ボランティアを派遣します。それに伴い、外国人市民の通訳をしていただける方を随時募集しています。

活動内容 原則として月曜日から金曜日(祝日は除く)の8:45~17:15の間、2時間以内です。通訳する内容は主に行政手続きや相談などで、式典の通訳や教科の指導、診療行為の通訳は対象外です。

対象 日本語と外国語の読み書きや日常会話、行政手続き等の通訳ができて、以下の条件を満たす方。

*茨木市内または近郊にお住まいの方

*18歳以上

*主に平日の昼間、活動が可能な方

*プライバシー等、活動中に知り得た秘密・情報を口外しない方

報酬 原則無報酬。ただし、待ち合わせ等にかかる交通費として、協会より1回あたり2,000円をお渡しします

登録 協会事務局(TEL.072-620-1604)へ登録用紙を提出

(社)茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金

当基金では、茨木市国際親善都市協会が主催・共催又は後援する事業や、国外でのスポーツ・文化交流に参加する市内の青少年（満24歳以下）または青少年団体などに助成をしております。

◎平成23年度の主な助成事業

<p>高槻市・トゥーンバ市親善交歓派遣団事業 (茨木市在住3人)</p> <p>平成23年7月27日～8月2日にかけて、高槻スカウト連絡会が、高槻市とオーストラリア・トゥーンバ市との姉妹都市提携20周年を記念して派遣団事業を行い、連絡会に所属する茨木市民3人も参加しました。</p>	<p>茨木市少年サッカー訪問団</p> <p>平成23年7月17日～26日にかけて、ミネソタ州で開催された「USA杯・青少年サッカー大会」に出場するため市内の中学生22人が派遣され、U-14（14歳以下）クラスで準優勝という好成績を残しました。</p>
<p>第22回世界スカウトジャンボリー派遣事業</p> <p>平成23年7月26日～8月10日にかけて、スウェーデンで第22回世界スカウトジャンボリーが開催され、茨木スカウト連絡会から5人が派遣されました。現地では160の国と地域から集まったスカウトの皆さんとキャンプ生活を共にし、親善交歓をはかりました。</p>	<p>ラボ国際交流事業</p> <p>平成23年7月21日から8月23日にかけて、中学生6人がアメリカ、小学生2人が韓国を訪れ、それぞれがホームステイを体験しました。</p>
<p>小豆島町中学生リーダーキャンプ</p> <p>平成23年8月15日～16日にかけて、姉妹都市である小豆島町の中学生3人が、茨木市青少年野外活動センターで茨木市の中学生とキャンプ交流をしました。</p>	<p>小豆島オリーブ杯小学生バレーボール大会</p> <p>平成23年10月22日～23日にかけて、茨木市と姉妹友好都市である小豆島で第10回小豆島オリーブ杯小学生バレーボール大会が開催され、郡バレーボールクラブ・太田ジュニアバレーボールクラブ・玉籐スポーツ少年団・たまさばバレーボールクラブが出場しました。</p>
<p>第28回英語スピーチ大会</p> <p>平成23年11月3日、福祉文化会館5階文化ホールで第28回茨木市国際親善都市協会英語スピーチ大会が開催され、トロフィーと参加賞が贈られました。</p>	<p>絵画・書の交換</p> <p>茨木市内幼稚園・小学校・中学校の子供達の絵画や書を、姉妹都市・アメリカ合衆国ミネアポリス市、友好都市・中華人民共和国安慶市、国内姉妹都市・小豆島町及び韓国昌原市に送付しました。</p>
<p>早稲田摂陵高校吹奏楽コース マグダレナ・フェスティバル出演</p> <p>平成24年3月13日～21日にかけて、早稲田摂陵高校吹奏楽コースの生徒48人が、スペインのバレンシア州で開催されたマグダレナ・フェスティバルに日本から唯一招待をされ、演奏を行いました。</p>	<p>府立春日丘高校のミネアポリス市 (サウスウエスト高校) 派遣プログラム</p> <p>平成24年3月25日～4月2日にかけて春日丘高校の生徒12人が茨木市の姉妹都市であるミネアポリス市サウスウエスト高校を訪問し、現地高校生との交流やホームステイを体験しました。</p>
<p>第7回ハワイ・レインボー・キャンプ</p> <p>平成24年3月21日～29日にかけて、ハワイ州のホノルルで第7回ハワイ・レインボー・キャンプが開催され、茨木スカウト連絡会の高校生2人が参加、諸外国からのスカウトとの交流や、キャンプ生活を体験しました。</p>	

2012年英語ハイクコンテスト 入賞作品決定!!

英語ハイク 121 句の今回のテーマは、今年の宮中のお題「岸」(浜、浜辺) shore からとられています。shore というテーマに沿って自然をよく観察し、自然と人生の営みを重ね合わせた優れた作品が多く出句されました。年齢を超えて、素直に自然を捉え、真面目に人生に向かっているいい作品があり、多くを教えられました。「岸」(浜、浜辺) shore という私たちに非常に身近な存在をテーマにすることは、身近すぎて難しいことがあります。日ごろから自然をよく観察している作者が多いことに気づきました。

ハイクの選句の基準は、イメージの明確なもの、できるだけ新しい物の見方、英語語彙の使い方の巧さ、音の使い方などです。この基準に沿って、詩的感性の豊かな作品を選びました。ミネアポリスー茨木市の国際ハイク交流は日米の英語ハイク普及に寄与していると確信しています。

翻訳・講評：吉村侑久代
(岐阜保健短期大学教授・日本英詩協会会長)

幼稚園・小学校の部

作者：Jackson Rusnacko

A ragged Shoreline
Twisting, turning, never ends
Like a fairy tale

自然のままの海岸線
よじれたり、向きが変わったりして
続いている
まるでおとぎ話のように

高校生の部

作者：Melissa Yang

Hear the dolphins cry
Their innocent eyes seeking
The stranger on shore

イルカの鳴き声が聞こえる
イルカの邪気のない眼は
浜のよそ者を見つめている

中学生の部

作者：Antonia Palmiere

The shells on the sand
Inside, they sound like big waves
Crashing and roaring

砂原にいくつもの貝殻
貝殻の中で、大きな波がぶつかったり、
吠えたりするような音がしている

成人の部

作者：Bettye Brown

She walks on the beach
Where sand is like wet plaster
Casting trails of feet

浜辺を散歩する彼女
砂はまるで足跡をかたどる
湿った壁土のよう



ホームステイ・ホームビジット受入登録家庭募集!

茨木市国際親善都市協会では、留学生やJICA研修生などを受け入れて頂く
ホストファミリー家庭の登録を、通年で募集しています。ご自宅で国際交流しませんか?

- * **対象外国人** 阪大留学生、JICA研修員など
- * **内容** ホームステイは学生用に1室と1日朝夕の2食(週末・休日は3食)の提供、
ホームビジットは1日のみで宿泊なし
- * **とき** 随時、登録家庭に募集情報を郵送します
- * **対象者** 協会会員
- * **申込** 協会事務局(TEL.072-620-1604)へ登録用紙を提出



ミネアポリス市英語学習・生活体験ツアー

参加者
募集!!

ミネアポリス市への英語学習ツアー参加者を募集しています。ツアー内容は姉妹都市デーへの参加や、水上祭トーチパレードなど、盛りだくさんです。この機会にぜひCity of Lakes (湖の街) ミネアポリス市を体験して下さい♪



- 滞在期間** 平成24年7月5日～20日(16日間)
- 対象** 18歳以上の協会会員および市民
- 渡航費用** 約29万円
- 募集人員** 約10人
- 内容** ネイティブ・スピーカーの講師による授業、市内見学、実地活動など
- 申込** 5月31日までに、協会事務局(TEL:072-620-1604)へ



姉妹都市小豆島町の宿泊施設利用補助制度について

姉妹都市小豆島町との交流促進を図るため、茨木市では小豆島町の指定宿泊施設を利用する市民の皆さんに、宿泊費用の一部を補助する制度を設けています。

- 補助額** 中学生以上2,000円、小学生1,500円
(1人につき4月～翌3月までの年間1泊分のみ)
- 申請** 宿泊日の10日前までに、
- 詳細** 申請書を市民活動推進課へ提出
市民活動推進課
(TEL.072-620-1604)へ問い合わせ
又は下記ホームページへ



<宿泊補助ホームページ>

<http://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/shimin/shiminkatsudo/menu/shodoshima/index.html>

「我們是朋友！」—中国語で遊ぼう—

陸曉紅さんを講師にお招きして、子どもたちに中国語に親しんでもらう「我們是朋友!(ぼくらは友だち)」が、6月から本格的に始まります。偶数月の第3土曜日(平成25年2月のみ第2土曜日)に、ローズWAMで開催します。

- 対象** 小学2～6年生
- 申込** 協会事務局(TEL. 072-620-1604)
※テーマや持ち物などの詳細は、開催月の広報いばらき及び協会HPの募集欄でお知らせします



▲中国語教室のようす